

連携講座 ③-9【金沢大学】

定員30名



◆古代文明と「文化資源学」

～人類史を紐解く最前線～

主 題 2015年3月に北陸新幹線が開業し、東京ー金沢間が最短2時間半でつながるようになりました。金沢といえば伝統芸能や美術工芸、また食文化など、いわゆる加賀百万石の歴史を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。もちろん金沢大学では、こうした金沢の歴史・文化に関する研究も行っていますが、今回はあえて金沢を離れ、世界の古代文明にフォーカスを当てます。

金沢大学は、考古学・文化人類学・比較文化学・美術史学などを横断する「文化資源学」を主導し、世界各地の最前線で調査研究と教育活動を行っています。その現場では日々新たな事実が発見され、人類の歴史が少しずつ紐解かれています。

この講座では、皆さんも教科書で学んだ世界四大文明のうち、メソポタミア文明、エジプト文明、中国文明について「文化資源学」的アプローチから解説。さまざまな資料や写真を参照しながら、最新の考古学的発見や研究成果をお伝えするとともに、文化資源の将来とその活用について考えます。

講座番号 ③-9

時 間：午後2時～3時30分

場 所：築地社会教育会館

回 数：3回

受講料：900円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	11/21 (土)	遊牧民の遺物が伝えるメソポタミア文明	足立 拓朗
第2回	12/ 5 (土)	ツタンカーメンの秘宝の新発見	河合 望
第3回	12/19 (土)	中国文明の形成 -新たなシナリオ-	中村 慎一

講 師 紹 介

足立 拓朗 (あだち たくろう)

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系 教授。博士(文学)(筑波大学)。青山学院大学大学院文学研究科博士課程満期退学。専門は考古学、古代西アジア、遊牧民。



河合 望 (かわい のぞむ)

金沢大学新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 文化遺産国際協力ネットワークユニット 教授。学術博士(Ph.D.)。ジョンズ・ホプキンス大学大学院近東学科博士課程修了。専門は考古学、エジプト学。

中村 慎一 (なかむら しんいち)

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系 教授。博士(文学)。東京大学人文科学研究科博士課程修了。専門は中国考古学、比較考古学、農業起源論。

<写真>

左：良渚遺跡群（中国）出土の巨大木材

右上：ツタンカーメン王の玉座

右下：ワディ・シャルマ遺跡（サウジアラビア）の発掘風景